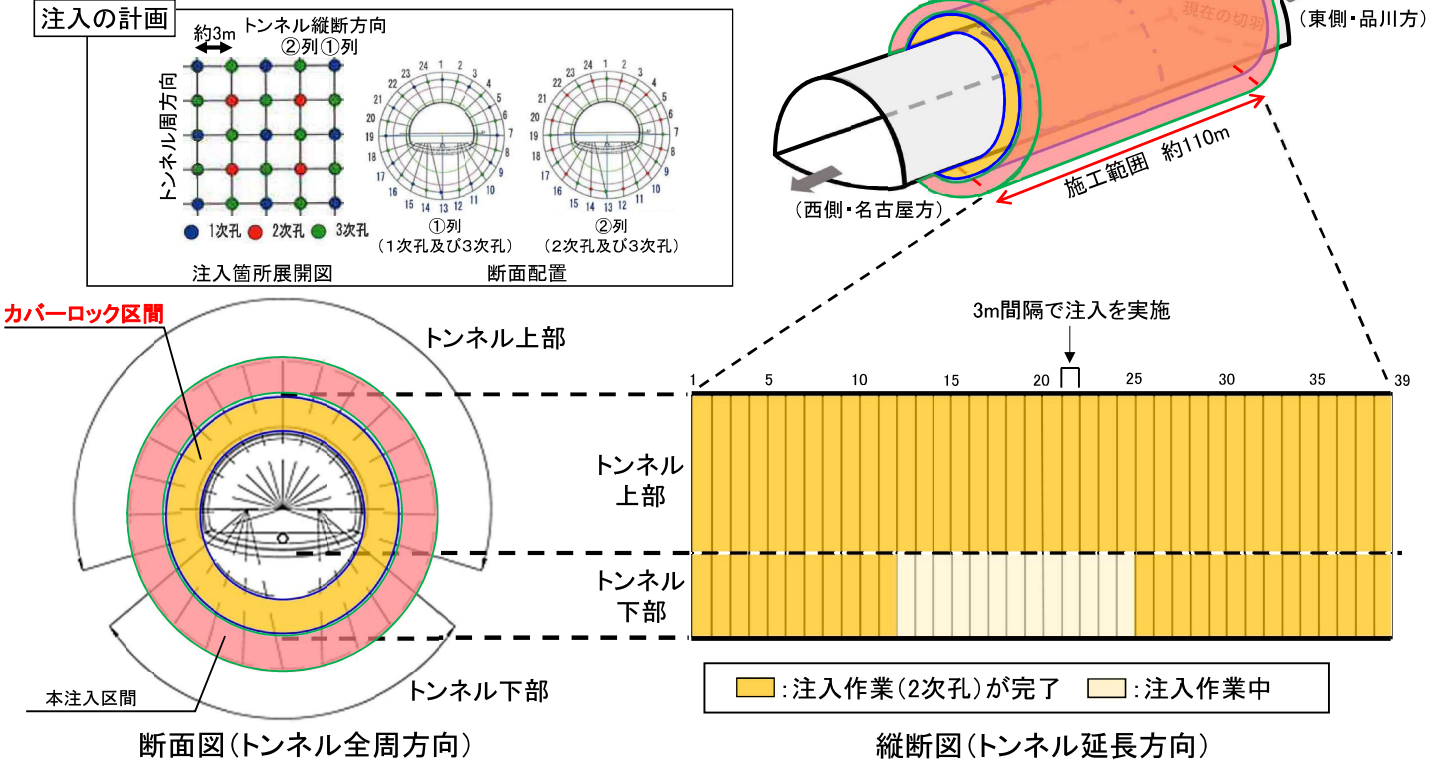


## 二次注入(①カバーロック)の進捗状況(11/25時点)

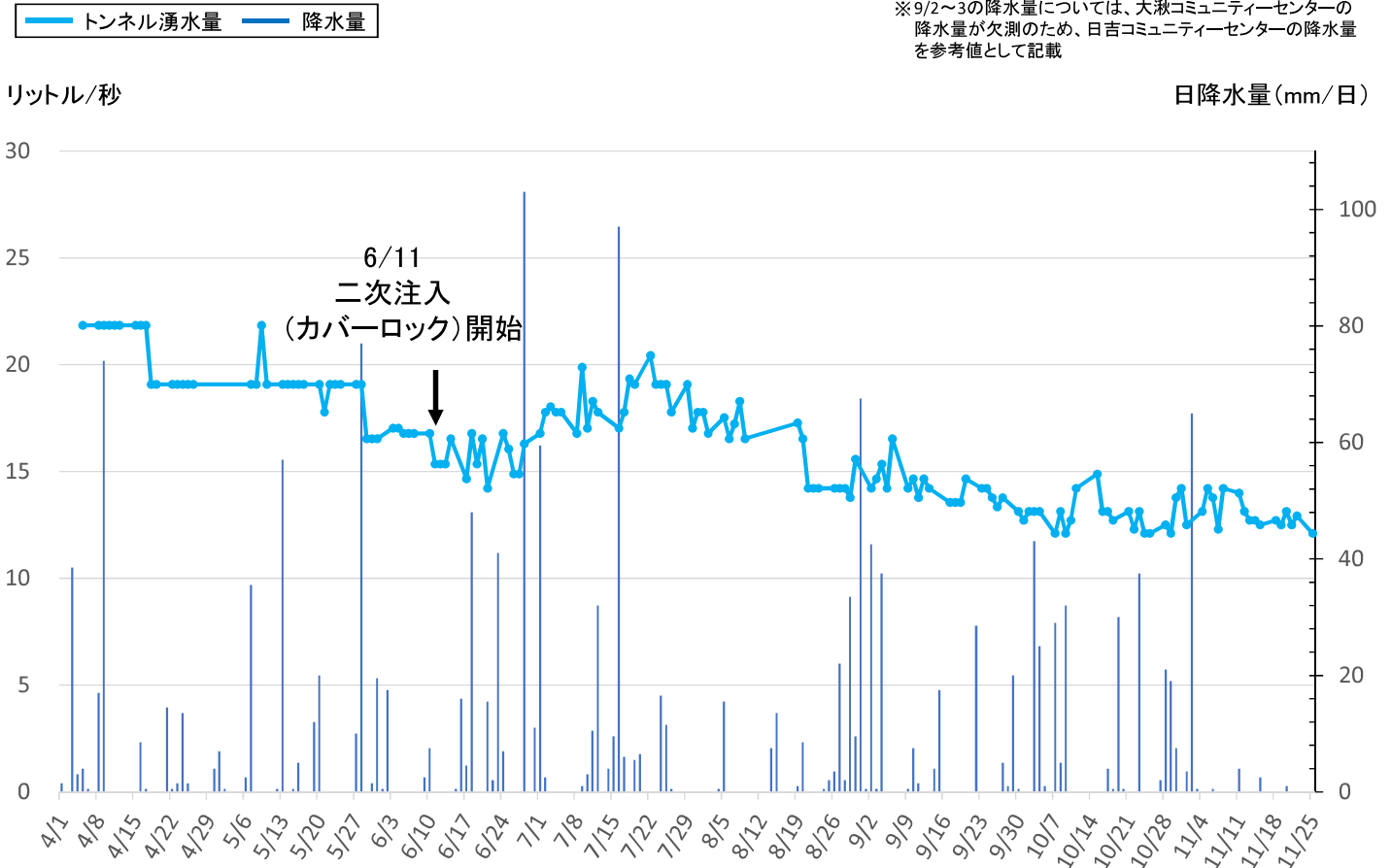
二次注入(①カバーロック)の進捗は下記の通り。

- ・ 削孔作業は、上下部ともに完了。
- ・ 注入作業は、上部と下部の一部が完了し、現在は残りの下部を進めている。

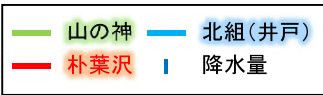


## トンネル湧水量の推移(11/25時点)

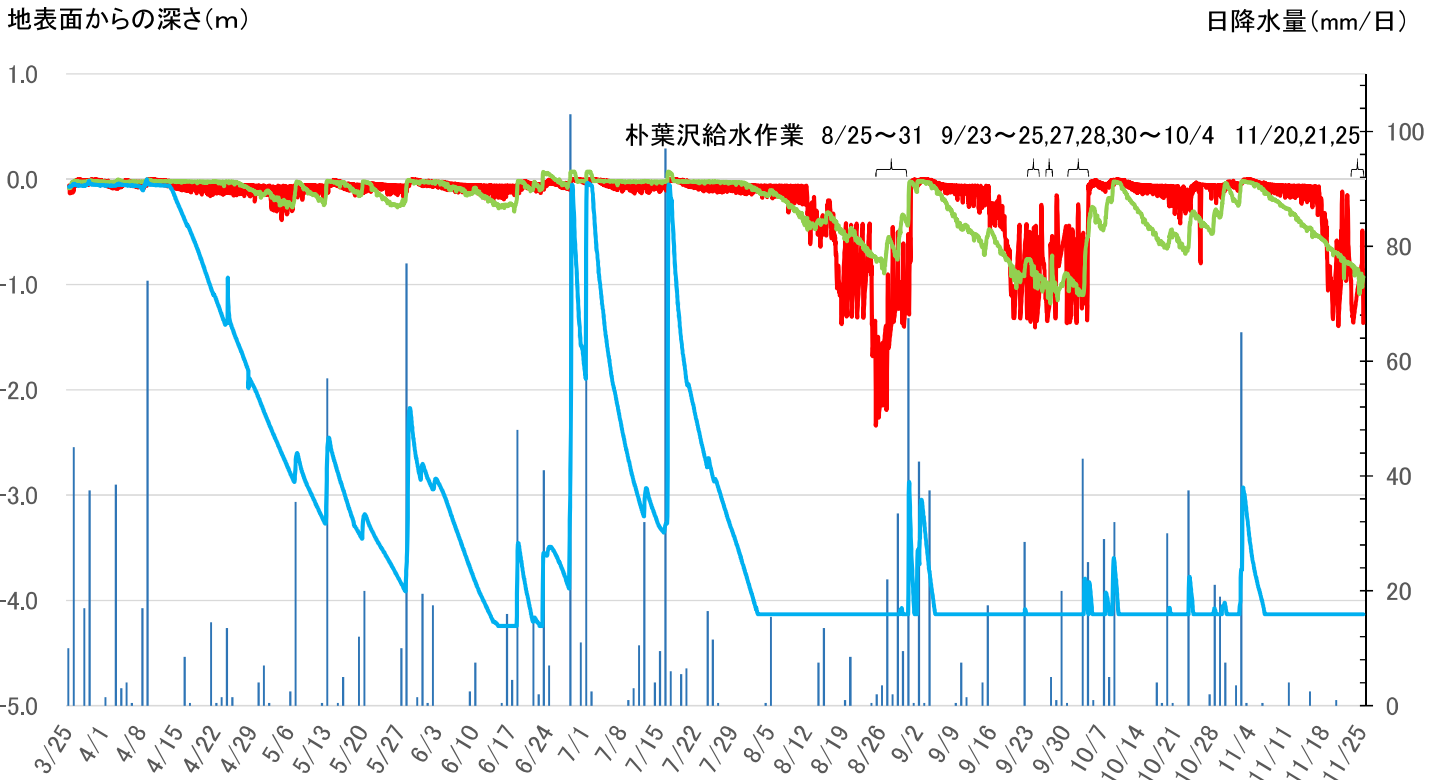
※9/2~3の降水量については、大湫コミュニティセンターの降水量が欠測のため、日吉コミュニティセンターの降水量を参考値として記載



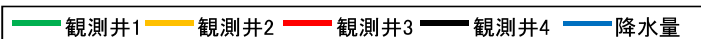
## 共同水源の地下水位の計測結果(11/25時点)



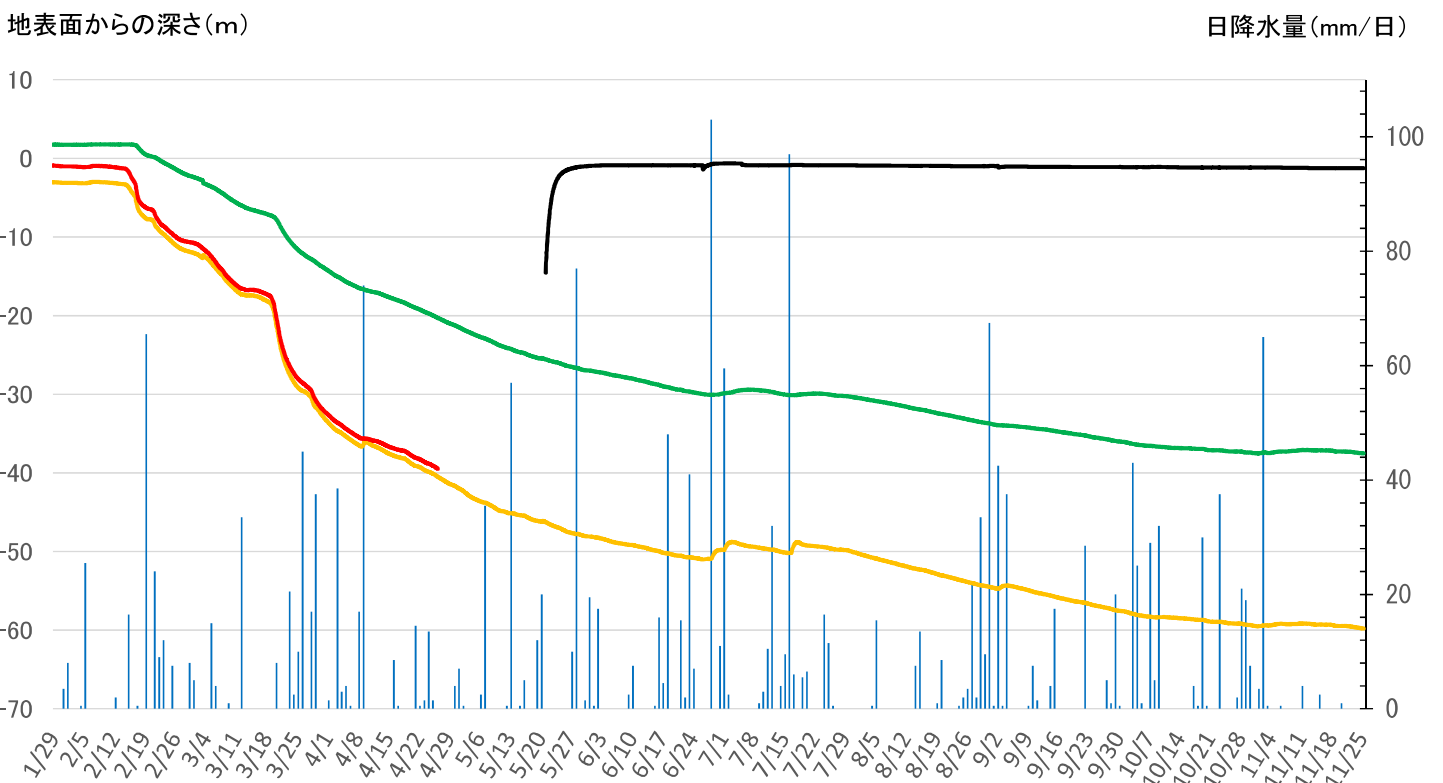
※9/2~3の降水量については、大湫コミュニティセンターの降水量が欠測のため、日吉コミュニティセンターの降水量を参考値として記載



## 観測井の地下水位の計測結果(11/25時点)

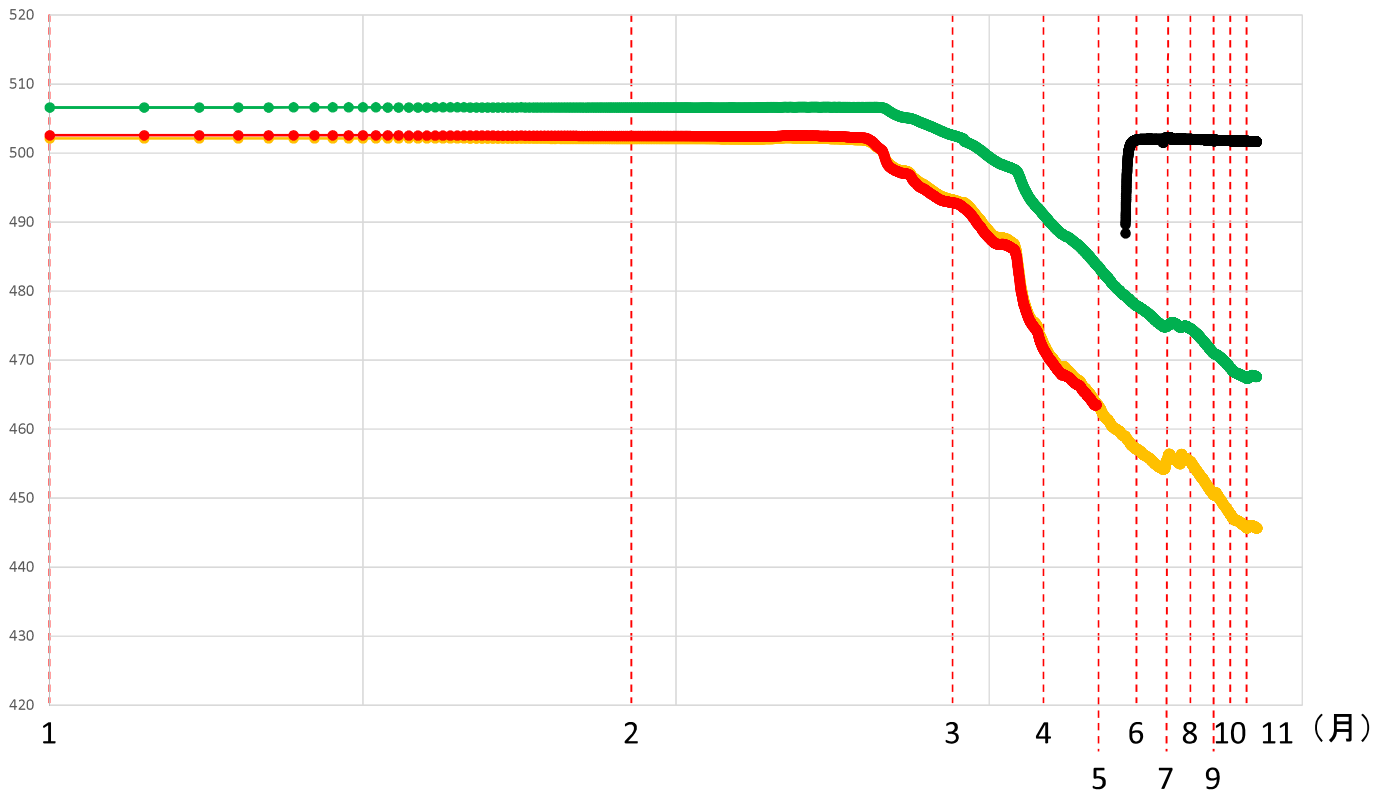


※9/2~3の降水量については、大湫コミュニティセンターの降水量が欠測のため、日吉コミュニティセンターの降水量を参考値として記載



## 観測井水位の対数グラフ(11/25時点)

観測井1 観測井2 観測井3 観測井4



## 調査、解析のスケジュール

	11月	12月	1月	2月	3月以降
二次注入 (カバーロック)	現地作業				
電気探査	解析作業				
ボーリング調査	順次着手	現地作業			
地表踏査		現地作業	解析作業		
水文調査 水質調査					水文調査継続
水位低下量 (浸透流解析)		A 解析作業(概略)		C 解析作業	
地表面低下 (要因分析)		B 現地作業 (浅層ボーリング)	室内試験		

※ スケジュールについては、作業の進捗等により、今後変更の可能性があります。

## 今後の検討について

---

- ・ 二次注入(本注入)の実施の可否について

第5回審査会(8月27日)において、「本注入については、透水性を小さくし、水圧を上げる効果が大きいことから、カバーロック施工結果も参考に、専門家の意見をうかがいながら、試験施工実施可否も含め、対策案の見直しを検討していきます。」としていた。

まずは、二次注入(カバーロック)は、12月に完了する見込みであるため、カバーロックによるトンネル湧水の低減効果の検証を行う予定である。

その上で、次回までに本注入実施の方向性を見だし、今後の方針についても説明することを考えている。

- ・ その他解析の実施について

12月上旬～ A 電気探査の結果等を反映した地質モデルによる浸透流解析を実施することで、今後の地下水位の傾向を想定する。

B 盆地内の粘性土層を捉えるボーリングを別途実施するとともに、室内試験(圧密試験等)を実施し、今後の地表面の低下傾向を想定する。

2月上旬～ C 電気探査に加え、ボーリング調査や地表踏査等の結果を総合的に反映した地質モデルによる浸透流解析を実施する。